

令和6年度

今後の下水道事業について

～現状・課題・対策～

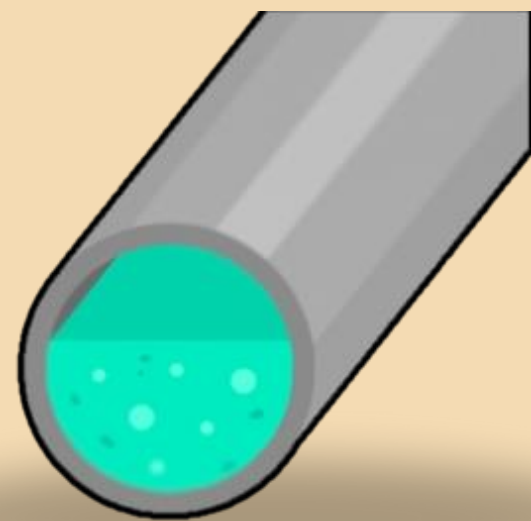
作成日：2024年7月9日

下呂市役所 上下水道部 下水道課

はじめに

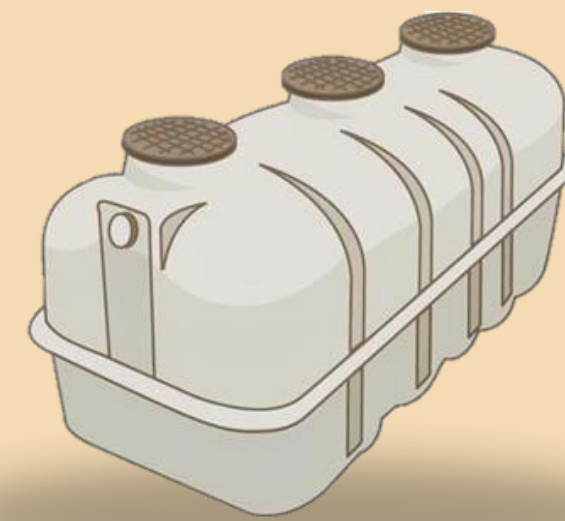
下呂市の汚水処理には、二つの方法があります。

どちらの方法も、生活排水（トイレ、台所、風呂、手洗い等）を処理し、きれいな水にしてから河川に戻します。



下水道（集合処理）

生活排水を、道路の中に埋設している管渠で
処理場を集めて、きれいな水にして河川に
流している。



合併処理浄化槽（個別処理）

生活排水、個別で設置している槽で処理し、
きれいな水にして最寄りの排水路や河川に
流している。

下呂市の汚水処理状況

人口 29,803人（R5.4.1時点）

下水道

下水区域人口 26,098人

未接続人口
15%

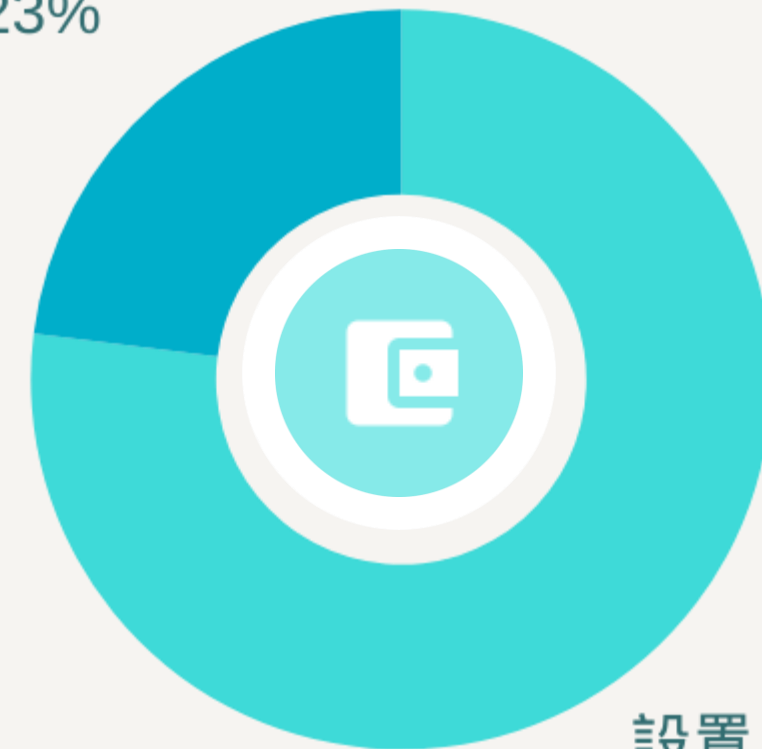


繋ぎ込み人口
85%

合併処理浄化槽

浄化槽区域人口 3,705人

未設置人口
23%



設置人口
77%

下水道事業の運営

下水道事業は、地方財政法により、市の管理する「一般会計」から独立し、経営に伴う収入のみをもって運営すること（独立採算制）となっています。

一般会計



学校教育



福祉



道路



消防

など

その他の会計

(公営企業会計)

公営企業会計

- 水道事業
- 交通事業
- 電気事業
- ガス事業
- 病院事業
- 下水道事業
- 宅地造成事業
- など

国民健康保険
事業会計

後期高齢者医療
事業会計

介護保険
事業会計

など

下水道事業会計 令和4年度決算状況（税抜き）

支出

施設維持管理費
約5.7億円

借金の返済
約11.3億円

支払利息
約1.8億円

収入

使用料収入
約5億円

繰入金(基準内)
約8.4億円

繰入金(基準外)
約5.4億円

全体

18.8億円

一般会計
から負担

13.8億円

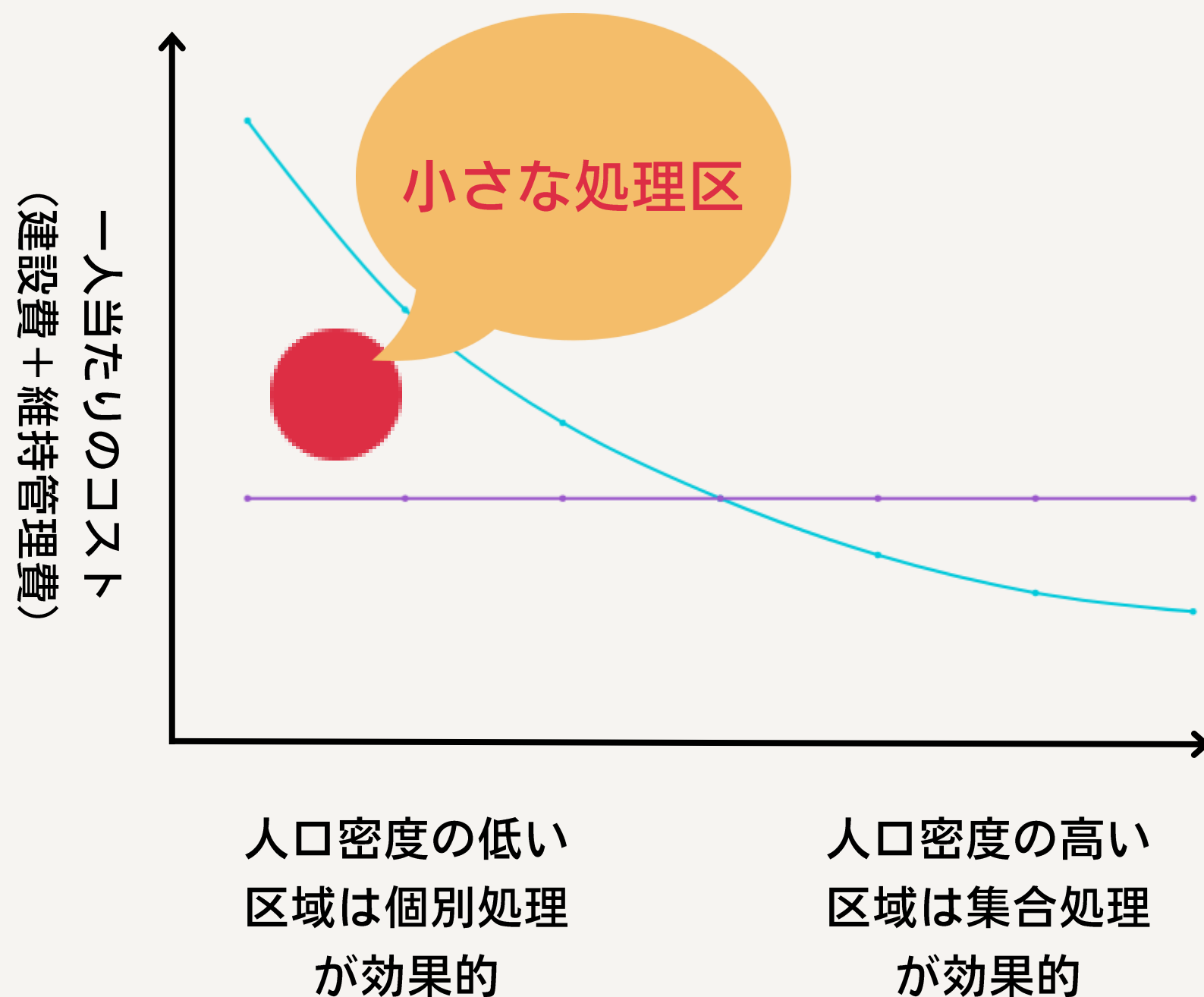
下水道事業は、河川などの公共用水域の水質保全という役割を担っているため、一般会計からある程度の負担は認められているが下呂市の場合、認められた金額以上をいただいてなんとか運営しています。

…独立採算には程遠い状況

一般会計からの負担が減れば、人口減少対策、持続可能なまちづくり、子育て支援、防災対策などの事業が早期に実現できます。

下呂市の下水道事業の現状

(経営状況)



下水道は、多額の借金で建設しましたが、近年の人口減少によって料金収入が減収し、借金返済が負担となっています。

人口密度の低い処理区は、汚水処理効率が低く、維持管理費が割高になります。

さらに、処理場のほとんどが建設後20年以上を経過…

これから、施設・機械設備の更新時期を迎えるため、それまでに何とかしないといけません。

経費削減に向けた取り組み

- ① 上下水道担当職員の減少（町村合併時32名➡令和5年度11名）
- ② 管理・料金業務を包括的に民間に委託し運営
- ③ 公営企業会計を導入し複式簿記での運営



あの手この手を尽くしてきましたが、これまでの
取り組みだけでは経費削減にも限界がきています…

今後の取り組み（二本の柱）

このまま何も対策をしなければ、新たな借金をする事になり、次の世代にツケを回すことになります。
そこで、二本の柱を計画しました。

浄化槽に転換

下水道事業を縮小し、
合併処理浄化槽に転換。
（集合処理から個別処理
への事業転換）

使用料の改定

現行の下水道使用料金
の値上げを行う。

これから下呂市が継続して行うこと

01

下水道への繋ぎ込み促進

使用料金収入の増収を目指します。

02

経費の削減

維持管理の効率化、施設・設備の計画的な更新を行います。

03

下水道の縮小

処理区の統合および合併処理浄化槽への転換を行います。

最後に...

未来の子どもたちに 安定的な暮らしを

人口減少を前提とした、持続可能な
まちづくりのためにご理解ご協力
をお願いします。



この資料に関するお問い合わせは下記まで

下呂市役所

上下水道部 下水道課

電話（直通）：0576-52-2460

gco000018@city.gero.lg.jp